



# 豊友

題字 加藤精一 猯下

第151号

<http://bussei.gr.jp/>



全真言宗青年連盟  
第三十五回結集泉涌寺大会



# 心の支え

福島二号仏青 長命寺 茨木祐賢

友達や知り合いの方と、震災前のような付き合いがすくなくなってきました。

津波や原発避難は、家族や友人関係を壊し、前を向いて生活して行こうとしても、自分が何もできないと苦しみ、前に進む力がでない。震災から3年半、4年もたちますが、希望を持つ事がいかに大変かを学びました。

前を向き生活していく事ができないでいる方にはご年配の方が多く、何も支えがなく生きていかなければいけない事実に「先のことは考えず一日一日を過ごしています」と話します。また、原発で避難されている飯館村の方の中には「故郷に帰りたいが国の決断が定まらず、自分の人生を誰かにゆだねている中途半端な状態が辛い」と嘆いたり、だんだん世間から忘れられていくのが怖い、明るいニュースが放送されるたび悲しくなりテレビを消してしまうとも語ります。

そのような生活をしていると心が病み、アルコール依存症やうつ病になり、周りの方に迷惑をかけてしまう悪い循環に陥る方がいる。こういった方々は仮設住宅に籠ってしまう傾向にあります。どうやったら通院してもらえるかなど、難しい問題は少なくありません。

中には、「亡くなった息子さんにあの世で会う時に精一杯生きてきたよ」ということを心の支えに生きている方や、子育ての使命感を支えに新居を求め、新しい人生を歩み始めている若い方もいます。各々が何かしらを心の支えにし生活を始めています。

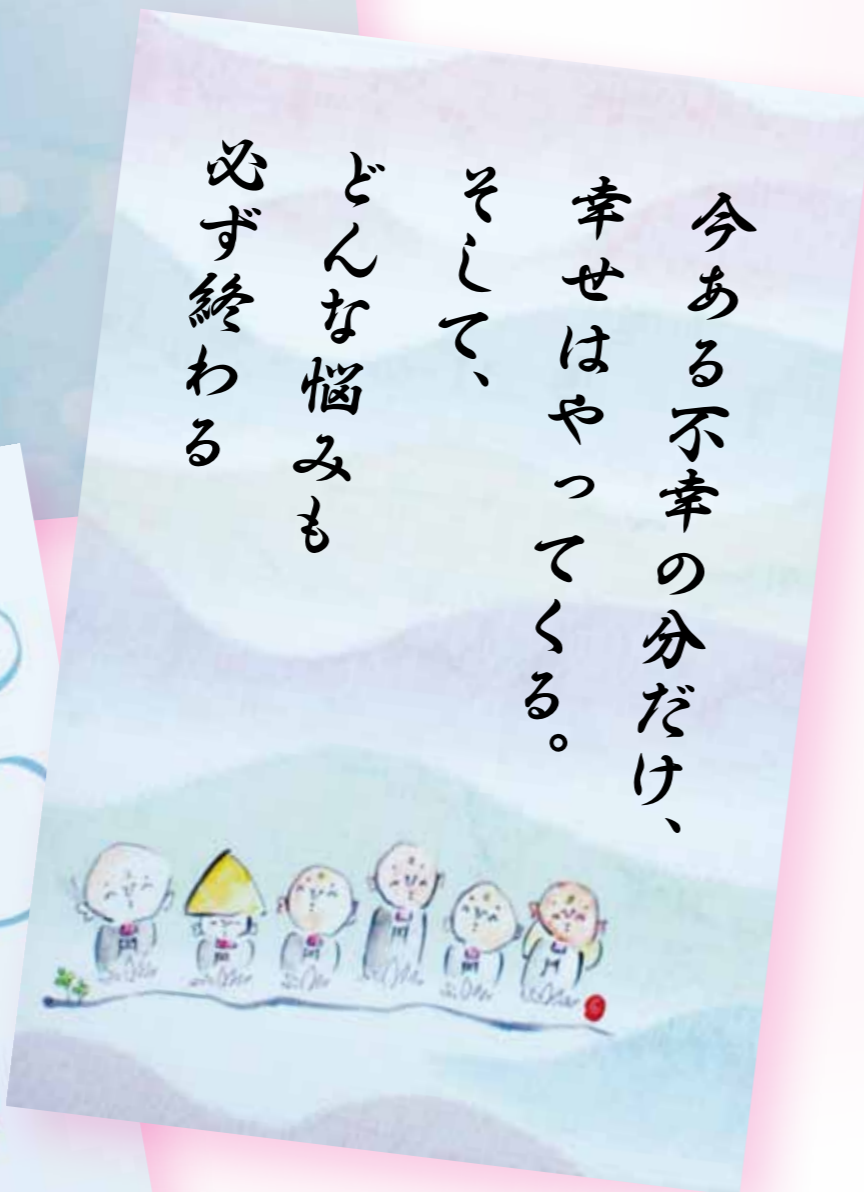
仮設住宅訪問を続けている一般社団法人「あむえこねっと」の方は「外部の私達がただ話を聞いてさしあげる、ただそれだけの支援活動を続けていく事で、安心して皆さんが心を開き吐露してくれました」と話します。

作家であり精神科医の斎藤茂太さんは平成18年に亡くなっていますが「今ある不幸の分だけ、幸せはやってくる。そして、どんな悩みも必ず終わる」という言葉を残しています。

私の所属する福島二号仏青が、お檀家さんへ絵葉書を配る活動を始めて3年がたちます。これからの被災者へ必要な支援は何より「心の支え」になること。

不幸や悩みは心を鍛え、心の許容量を増やしてくれる。その大きな器に幸せを招き入れる時に、私達の支援が少しでも力になると信じ活動を続けます。

前向きに考えることで、必ず道はひらける。







# 地区仏青会長が語る！

～千葉三号仏青 宮寺光明会長～

千葉三号仏青にとって、1年の中で最も中心のイベントである青少年研修会について聞きました



## お遍路さんを地元で体験

今年の青少年研修会について、内容と流れを教えてください。

今年には四国八十八箇所霊場の開創一二〇〇年の記念の年です。お四国に青少年研修会で行くことは難しいので、木更津市の四箇寺のお寺、約五キロの距離を、送り大師像と歩いてお参りすることをメインイベントにしました。午前中、小学生たちは自分の手で朱印帳を作成し、昼食をとったら出発です。

各寺院で般若心経やご宝号などをお唱えして、ご朱印を頂きます。数名の保護者も、一緒に朱印帳を作成し、一緒にお参りをしました。

この後、お風呂、夕食、パネルシアター、そして布団に入るまで予定通りに進められました。でも、かなり歩いたはずなのに、まあ寝ないですね(笑)。例年は女の子の方が話に夢中になっちゃって夜更かしなんです。今年はずいぶん男の子の方が遅くまで起きていましたね。

前回、女の子からアンケートの中に本堂に泊まってみたいとリクエストがあったので、応えてみました。でもそのアンケートを書いた子は今年不参加でした(笑)。本堂で寝るの



が怖いと言う女の子もいましたよ。

二日目は起きてから掃除、お勤め、朝食、荷物整理と自由時間、法要と閉所式となります。十時には子どもたちは解散、スタッフもお屋前に解散になりました。

## 寝付かなかった原因？

パネルシアターとは何ですか？

パネル布を舞台として登場人物を貼ったり剥がしたりして、視覚からも話や歌が楽しめるというものです。その他にバルーンアートなどもやっていましたね。今回は幼稚園から小学校、養護学校などでも活動し

## みんな笑ってくれるから

今後の展望をうかがいました。

今年の研修会が終わったばかりなので、来年はまだ何も決まっています。今年の反省を活かして来年に繋がりたいですね。他の仏青さんの企画も参考にしたいと考えています。友達と一緒にお寺に泊まったっていい思い出があれば、きっと大きくなってもお寺に抵抗なく来てもらえるのではないかと思います。年に一度だから、一ヶ寺でなく大勢だから、子どもも大人もお寺で笑ってくれるから頑張れる、そんな感じがしています。



のある方だけでも、お寺を身近に感じてもらうべく参加OKにしようと思ってきました。四年前から、大人も参加できる青少年研修会を開いています。

ある年は、「親子逆転の一日」と題して、大人が医者さんやお坊さんの授業を受けてもらって、子どもたちはその間に夕食作りをしました。メニューはカレーライスなんですけど、もちろんご飯は飯盒で炊きました。仏青会員も経験不足だからヒヤヒヤでした(笑)。

大人向けの授業は、小児科のお医者さんをお招きして、例えば、夜中病院に連れて行ったほうがいいとき



大人も青少年研修会に参加すると聞きました。どんなものですか？

保護者は、送り迎えて2回もお寺にやってくるのに、何もしないのは教化活動としてもったいない。時間

と家で様子を見るときの見極めなどを聞きました。みんな知りたいことだったんでしょうね、おかげさまで好評でした。  
仏教については「あれ？これはどうするの？」っていう一般的な疑問、お焼香ですか、お仏壇などの話ですね。講師は会長を終えられた先輩にお願しました。  
別の年は「おとなVS子ども」と題して、オリエンテーリングで保護者班と子ども班で対決しました。大人が「子どもたちには負けられないっ！」ってすごくはしゃいでくれて、盛り上がり、「楽しい！」と何度も言っていたかったです。  
プロの紙切りの方をお招きましたこともありました。子どもたちがお題を言って、それが目の前でできあがっていく。みんな集中して見ていましたね。その後、子どもたちも紙切りに挑戦しましたが、吸収が早いと言うか、みんな上手に作っていましたね。  
ちなみに保護者の方々が宿泊することはありません。大人は夕方に解散になり、次の日に迎えに来てもらいます。夜は子どもたちだけの時間です。親のいないお泊りは楽しいですからね。





# 全真言宗青年連盟第三十五回 結集泉涌寺大会に参加して

真言宗豊山派仏教青年会事業次長

東京五号 正覚院 菊地陽龍



見事な秋晴れのもと、平成二十六年十月二十二日、二十三日、真言宗泉涌寺派総本山泉涌寺にて『諸悪莫作 衆善奉行』をテーマに全真言宗青年連盟第三十五回結集泉涌寺大会が開催された。

まず一日目はリーガロイヤルホテル京都にて、佐伯俊源師、

渡邊恭章師、西谷功師、大三輪龍哉師による公開座談会『歴史の中の泉涌寺』、その後久能靖氏による『知られざる皇室』をテーマにした講演が行われた。古来皇室と繋がり深い泉涌寺ならではの内容は、国と寺院との歴史の側面を知ることができる大変興味深いものであった。



翌二日目は月輪山の麓にたたずむ泉涌寺に会場を移し、二つの法要に参加した。舍利殿では青年僧みなで理趣三昧を厳修した。また仏殿では真儀楞嚴大会という泉涌寺に伝わる泉涌寺法要に参加させていただいた。楞嚴咒経という経は初めて聴くものであり、運慶作の釈迦・弥陀・弥勒の三尊の元、とても厳かな法要であった。



この二日間を通して、皇室の菩提寺である泉涌寺の歴史の一部に触れる事ができ、私が高まってきた事無かった新たな真言宗の習わしや奥深さを体験できる貴重な機会となった。